

堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）

舞台管理運営業務委託契約に関する仕様書

堺市民芸術文化ホール施設の概要

| | | | 内容 |
|--------|-----------|--|-----------------------------------|
| 施設名称 | | | 堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺) |
| 施設所在地 | | | 大阪府堺市堺区翁橋町2丁地内 |
| 設置主体 | | | 堺市 |
| 施設 | 面積 | 敷地面積 | 14,333㎡ |
| | | 建築面積 | 8,883㎡ |
| | | 延床面積 | 19,772㎡ |
| | 階数等 | | 地上6階、地下1階(鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造) |
| | ホール 席数 | 大ホール | 2,000席(うち車椅子席12席 オーケストラピット182席含む) |
| | | 小ホール | 312席(うち車椅子席4席) |
| | 駐車台数 | | 100台 |
| その他の施設 | | 大スタジオ(287㎡) 小スタジオ(18㎡、36㎡、64㎡) 文化交流室(68㎡、98㎡、68㎡ ※3室一体利用可能) 多目的室(161㎡) 交流・創作ギャラリー ほか | |

設備概要

舞台機構設備

- 三精テクノロジーズ社製舞台機構一式
 - 全電動式吊物機構
 - 機構操作卓 マニュアル運転、シーン運転(大ホールのみ)

□大ホール

- 美術バトン 50 本 最大 1500mm/min 可変速
- ライトブリッジ 4 基、サスペンションライトバトン 2 本
- アッパーホリゾントライト 1 本 固定速
- 吊り下げ式反響板(天反・側反・正反)
- オペラカーテン 昇降・開閉・絞り
- 他、舞台奥バトン 2 本、東西バトン、ホイスト等

□床機構 大ホール大迫り、オーケストラピット、客席収納ワゴン

□小ホール

- 美術バトン 8 本 固定速
- サスペンションライトバトン 1 本、アッパーホリゾントライトバトン1本 固定速
- 引き割緞帳
- 巻き取り式ホリゾント幕
- スライディングウォール式 反響板(側反)

舞台照明設備

□大ホール

- 調光卓:Panasonic 社製 パコリス NE
プリセットフェーダー120 本×3 段 サブマスターフェーダー30 本×100 ページ
- プロセニウムサスペンションライト 15A×16 回路
- 1~4 ライトブリッジ 15A×44 回路 5 サスペンションライト 15A×32 回路
- 1 シーリング 8 台×6 色 2 シーリング エバーマックス×16 台
- フロントサイド 4 台×6 色
- アッパーホリゾントライト/ローアホリゾントライト 各 4 色
- 3kw フォロースポットライト×4 本

□小ホール

- 調光卓:Panasonic 社製パレータス γ
プリセットフェーダー60本×3段 サブマスターフェーダー20本×50ページ
- プロセニアムサスペンションライト 15A×12回路
- 1ライトブリッジ 15A×20回路 2ライトブリッジ 15A×20回路
- 1シーリングライトブリッジ 15A×12回路 2～3シーリングライトブリッジ 15A×16回路
(1～2ライトブリッジ 1～3シーリングライトブリッジ昇降なし)
- アッパーホリゾンタルライト/ローアホリゾンタルライト各4色
- 1kw フォロースポットライト×2本

□大スタジオ

- 調光卓:Panasonic 社製パレータス γ
プリセットフェーダー 60本×2段 サブマスターフェーダー20本×50ページ
- 700w フォロースポットライト×2本
- 80回路
- 500W 凸レンズ×24台 500W フレネル×18台

□映像設備 DLP プロジェクター 20000lm 相当

舞台音響設備

□大ホール

- 音声調整卓:YAMAHA RIVAGE PM7(1階席最後部の音響室に常設)
- デジタル回線:TWINLANe ネットワーク(光ファイバー)用コンセント及びDante ネットワーク(CAT6 STP)用コンセントを舞台下手袖、上手袖、客席1階PA席(2ヶ所)に敷設。
- 常設スピーカーシステム:可動式プロセニアム(センターのみ) NEXO STM M28×8
トップスピーカー NEXO PS15U 1対向
サイドスピーカー NEXO GEO S1210/LS18 10/2 対向
インフィルスピーカー NEXO PS15U 1対向
ステージフロントスピーカー K-array KK102×8+KU26×4
バルコニー補助スピーカー YAMAHA VXC6×24
ポータルモニタスピーカー K-array KK102+KK52+KU26 1対向

□小ホール

- 音声調整卓:YAMAHA QL5(2階最後部の音響室に常設)
- デジタル回線:Dante ネットワーク(CAT6 STP)用コンセントを舞台下手袖、上手袖および客席1階 PA 席に敷設。

- 常設スピーカーシステム:カラムスピーカー NEXO PS15U/LS18 2/1 対向
アンダーバルコニー YAMAHA VXC6×8
ポータルモニタスピーカー K-array KK102+KK52+KU26 1 対向

□大スタジオ

- 音声調整卓:YAMAHA QL1(スタジオ 2 階技術ギャラリーに設置)
- デジタル回線:Dante ネットワーク(CAT6 STP)用コンセントを舞台下手袖、および客席壁面 4 か所に敷設
- 常設スピーカーシステム:メインスピーカー YAMAHA DSR112/DXS18 1/1 対向
リアスピーカー YAMAHA DSR112×2
センタースピーカー YAMAHA DXR12×2

※業務を行うにあたり、必要な図面や設備などの資料は別途提供することとする。

堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺)
「舞台管理運営業務委託契約に関する仕様書」

この仕様書は、堺市文化振興財団が指定管理者(期間:2016年10月1日~2024年3月31日まで)として管理する堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺)の舞台管理運営業務の請負に関する仕様を定めるものである。施設の良い管理運営と事故を未然に防ぎ、利用者との信頼構築に努めるものとし、本仕様書に記載のない事項であっても、当該業務実施上、必要とする事項については、委託者と協議の上、実施するものとする。

1. 委託業務内容

- ・ 受託者が行う業務は、円滑な人格と良識を具えた、責任感のある者で、かつ健康な者で構成すること。
- ・ 受託所は、専門的な技能、知識、経験に基づいて、作業の安全に留意して、次に掲げる業務を主とした舞台運営業務を施設に常駐し行う。

① 運営業務

- (ア) 自主・貸館すべての公演・準備における舞台全般に渡っての舞台運営業務
- (イ) 自主・貸館すべての主催者との打合せ(進行・技術・運営相談等)や下見・見学者へ対する説明
- (ウ) 自主・貸館すべての公演・準備における舞台設備・舞台機構の操作・管理・安全運用の指導業務(舞台機構運転時の安全監視を含む)
- (エ) 舞台、照明、音響、その他機器等の専門的な操作や運営
- (オ) 舞台設備及び備品の管理業務、消耗品等に関する入出庫管理
- (カ) 舞台設備及び備品の損傷、不具合等の確認・報告及び軽微な補修業務
- (キ) 担当の技術諸室及び舞台の清掃並びに整理整頓
- (ク) 舞台、照明諸室、音響諸室等の火気点検及び舞台倉庫等の戸締り確認
- (ケ) 搬出入監視・立会い、楽屋備品の管理業務補助
- (コ) 舞台保守点検業務の立会い及び、施設・保守点検業者への不具合・破損・異常状況の報告
- (サ) 自主事業等、制作事業のための技術提供及び、公演における道具製作や保管・整理
- (シ) 担当の技術に関する創作デザイン、プランニング業務
- (ス) 大スタジオ・小スタジオ・文化交流室など諸室の舞台運営・管理・技術提供業務
- (セ) 自主・貸館における公演準備、本番等の技術者の追加人員手配
- (ソ) 舞台設備機器全般の操作資料、備品リスト等の資料作成
- (タ) 打合せ情報・公演結果資料等の資料作成、情報入力
- (チ) 普及事業等でのワークショップ等の運営協力・指導、監督
- (ツ) アウトリーチ、外部公演等の派遣業務

- (テ) 施設消防計画に基づく自営消防組織での業務、訓練や安全研修等
- (ト) 事故・災害時の舞台関連施設・設備の総点検、復帰・復旧作業の補助
- (ナ) 通常稼働期間前における舞台設備全般の動作確認・習熟訓練等
- (ニ) その他、委託者が必要と認める舞台関係業務

② 業務計画の提出

業務の実施にあたり、月間予定表に準じて財団と協議の上、翌月の計画表を指定日に提出すること。

③ 業務報告

施設ごとの業務日報の作成と実績表を作成し、指定日に提出する。

2. 業務体制

- ① 受託者は、舞台運営業務を遂行するために、常駐して従事する技術者を別紙 1 のとおり配置する。
- ② 打合せや保守点検日、公演のない日については、協議の上、業務に支障のない人数で従事するよう、業務計画にて、事前に協議し決定することとする。
- ③ 受託者は、委託者と協議の上、公演内容に応じて業務上必要な常駐技術者ポスト数及び、業務従事シフトを決定する。
- ④ 受託者は、従事者に異動や欠員が生じた場合、事前にその旨を通知し、了承を得ることとする。

3. 業務時間等

- ① 業務時間は、9時から22時までのフレックスタイム制で調整すること(早朝深夜延長利用の際は、別紙 2 のとおり支払うこととする。)。なお、施設利用者の利用開始時刻から、対応できるように備えること。
- ② 通常稼働期間前の習熟訓練、動作確認等の業務時間は、概ね 9 時から 17 時 30 分とするが、作業日程や状況によっては、それに該当しないこともあるため、事前に調整を行う。また、通常稼働期間前の市民文化団体先行利用などの公演にも従事すること。

4. 服務規律等

受託者は、従事者に次の各校に掲げる事項を遵守させなければならない。

- ① 服務の遂行にあたっては、常に安全、清潔に期すること。
- ② 利用者及び来館者に不快感を与えない身だしなみ、丁寧な言葉使いや対応やで従事すること。また、華美な髪形や色など場に応じた服装にすること。
- ③ 施設利用者との相互協力に努めるとともに、施設利用者へのサービス向上に努めること。

別紙 1

舞台運営業務のポスト配置数について

- ◆ 統括責任者:1 ポスト

- ◆ 舞台技術者:6 ポスト

| 配置の参考 | |
|-------|---------------------------------|
| 大ホール | 5 ポスト(反響板の場合 2 ポスト) |
| 小ホール | 1 ポスト |
| 大スタジオ | 1 ポスト (※常駐技術者が不足の場合、追加人員を配置する。) |

- ◆ 照明技術者:4 ポスト (映像業務を兼ねること)

| 配置の参考 | |
|-------|---------------------------------|
| 大ホール | 3 ポスト(反響板の場合 2 ポスト) |
| 小ホール | 1 ポスト |
| 大スタジオ | 1 ポスト (※常駐技術者が不足の場合、追加人員を配置する。) |

- ◆ 音響技術者:4 ポスト

| 配置の参考 | |
|-------|-------|
| 大ホール | 2 ポスト |
| 小ホール | 1 ポスト |
| 大スタジオ | 1 ポスト |

1. 統括責任者

統括責任者は、業務の内容判断ができる技術力及び必要な技術を有し、実務経験が 10 年以上の者とし、専任で統括責任者を務めること。

統括責任者の業務は、舞台・照明・音響の 14 名を統括し、委託者との調整・事務作業を主として行う。また、委託者と協力し、目指すべき施設運営となるべく現場従事者を統括、指導する。

2. 技術チーフ:3 名 (下記技術者より、舞台・照明・音響各 1 名ずつ選出)

舞台技術について、10 年以上の実務経験を有し、舞台設備の管理、自主事業・貸館事業等の技術プラン及び操作ができ、対外交渉能力を有する者とし、舞台・照明・音響各々に 1 名ずつとする。また、各セクションの取り纏めを行うこと。

3. 技術者

ホールでの 3 年以上の実務経験を有し、舞台・照明・音響機器操作経験を有する者とする。

その他諸要件等

1. 大ホール、小ホール、大スタジオの専属ではなく、各施設を横断的にシフトし効率よく行うよう努めること。また、業務について各セクション協力的な対応をすること。
2. 構成員は、防火管理者、救命救急講習受講者、玉掛技能者、足場組立等作業主任者、職長資格等ホールの安全運用に有効な有資格者を複数人含むこと。
3. 舞台技術者は、舞台機構操作(コンピューター制御)にも対応すること。
4. 利用者との打合せは、委託者と共に行うものとし、当日、その技術者は、機器のオペレート業務等に専従することなく、利用者与技术者との連絡調整を行うこと。
5. 受託者は、対物品は損害賠償保険、対人身に障害保険、また、業務受託にあたって構成員についても労働災害保険に加入、保障すること。

別紙 2

早朝、深夜延長料金

9 時以前及び 22 時以降に施設の延長利用があった場合は、次の料金とする。

0.5 時間 1 ポストあたり 1,300円(消費税及び地方消費税を除く)

(参考) 堺市民芸術文化ホールの運用計画(*利用日数(見込)は2020年度ベース)

| 区 分 | | 内 容 |
|--|-------------------------------|---|
| 開館日数 | | 311日(365日-30日(休館日)-24日(保守点検日)) |
| 休館日等 | | 第1月曜日及び第3月曜日。 (国民の祝日に当たるときは、開館。年末年始(12/29~1/3)) |
| ホール利用見込 (ホール稼働) | | 248日(311日×80%(目標利用率)) *2019年度は142日を想定。 内訳:市民団体先行利用予定期間20日(8月~9月)+オープニング期間3か月(10月~12月)、通常稼働期間3か月(1月~3月)における122日(153日(183日-18日(休館日)-12日(保守点検日))×80%(目標利用率)) |
| 事業数 公演数 (見込) | 大ホール 利用日数 248日 (見込) | ○自主事業40公演 準備・リハーサル9日 利用日数49日(見込) ○特別貸館60公演 準備・リハーサル15日 利用日数75日(見込) ○一般貸館100公演 準備・リハーサル24日 利用日数124日(見込) |
| | 小ホール 利用日数 248日 (見込) | ○自主事業20公演 準備・リハーサル4日 利用日数 24日(見込) ○特別貸館20公演 準備・リハーサル4日 利用日数 24日(見込) ○一般貸館160公演 準備・リハーサル40日 利用日数 200日(見込) |
| | 大スタジオ 利用日数 248日 (見込) | ○一般貸館174公演 準備・リハーサル74日 利用日数248日(見込) |
| その他諸室 | | 202日(311日×65%(目標利用率)) *2019年度は133日を想定。(206日(244日-22日(休館日)-16日(保守点検日))×65%(目標利用率)) |
| その他、堺市民芸術文化ホールの消防計画に基づき、年3回(消防2回、防災1回)訓練を実施します。(委託事業者も構成員となる自衛消防組織を検討しています。) | | |